

参考文献

<掲出順>

- ①今津孝次郎[2012]『教師が育つ条件』岩波書店
- ②西岡加名恵[2003]『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法～新たな評価基準の創出に向けて～』
図書文化社
- ③上條晴夫[編著][2004]『ワークショップ型授業で国語が変わる 小学校 夢中で学べる楽しい授業
プラン15』図書文化社
- ※溝上慎一[2016.7]「アクティブ・ラーニング型授業の学習課題」『教育科学国語教育』pp.8-11
- ④渡辺重夫[2013]『学習指導と学校図書館 第三版』学文社
- ⑤苫野一徳[2014]『教育の力』講談社
- ⑥ダン・ロスステイン、ルース・サンタナ／吉田新一郎[訳][2015]『たった一つを変えるだけークラ
スも教師も自立する「質問づくり」一』新評論
- ⑦西岡加名恵ほか[2016]「教科の知識を伝達する教員の養成からスキル修得とコンピテンシー形成を
支え導く教員の養成へ」『学校教育改革の動向を見据えた今後の教員養成教育の在り方』「協同出版
出版セミナー in 京都」におけるパネルディスカッション、2015年12月7日開催、協同出版、pp.7-
14
- ⑦日本教科教育学会[編][2014]『今なぜ、教科教育なのか—教科の本質を踏まえた授業づくり—』文
溪堂
- ⑧OECD教育研究革新センター[編著]／立田慶裕、平沢安政[監訳][2013]『学習の本質—研究の
活用から実践へ』明石書店
- ⑨竜田徹[2014]『構想力を育む国語教育』溪水社
- ⑩岡本夏木[2005]『幼児期—子どもは世界をどうつかむか—』岩波書店

<その他>

- 米田重和[編著][2016]『中学校数学科 アクティブ・ラーニングの教材&授業プラン』明治図書
- エリン・オリヴァー・キーン／山元隆春、吉田新一郎[訳][2014]『理解するってどういうこと？
「わかる」ための方法と「わかる」ことで得られる宝物』新曜社
- ロジャー・ハート[著]／IPA日本支部[訳]『子どもの参画—コミュニティづくりと身近な環境
ケアへの参画のための理論と実際』萌文社
- 国立教育政策研究所[編]『教育研究とエビデンス—国際的動向と日本の現状と課題』明石書店
- ドナルド・ショーン／佐藤学、秋田喜代美[訳][2001]『専門家の知恵—反省的実践家は行為しなが
ら考える』ゆみる出版
- 牧田秀昭、秋田喜代美[2012]『教える空間から学び合う場へ—数学教師の授業づくり』東洋館
- 柘植雅義、堀江祐爾、清水静海[編著][2012]『教科教育と特別支援教育のコラボレーション—授業
研究会の新たな挑戦』金子書房
- 田中耕治[編著][2011]『パフォーマンス評価 思考力・判断力・表現力を育む授業づくり』ぎょう
せい
- B・J・ジーママン、D・H・シャンク[編]／塚野州一、伊藤崇達[監訳][2014]『自己調整学習
ハンドブック』北大路書房
- R・K・ソーヤー[編]／森敏昭、秋田喜代美[監訳][2009]『学習科学ハンドブック』培風館
- 青木幹勇[1976]『青木幹勇授業技術集成 第5巻 発問・板書・展開』明治図書